

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	2024年 8 月 8 日
住 所 (法 人 に あ っ て は , 主 た る 事 務 所 の 所 在 地) 大 阪 市 天 王 寺 区 上 本 町 六 丁 目 5 番 13 号	氏 名 (法 人 に あ っ て は , 名 称 及 び 代 表 名) 近 鉄 不 動 産 株 式 有 限 公 司 代 表 取 締 役 社 長 倉 橋 孝 壽

京都市地球温暖化対策条例 ■第 4 9 条第 1 項 □第 4 9 条第 3 項 □第 5 2 条第 1 項 □第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		■ 新 築 □ 増 築		
工事着工予定年月日		2024 年 9 月 1 日		
工事完了予定年月日		2026 年 3 月 31 日		
建築物 の概要	名 称	(仮 称) 中 京 区 錦 大 宮 町 P J		
	所 在 地	京都市中京区四条通大宮西入錦大宮町140番、140番1の一部		
	構 造	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	階 数	地 上 10 階 地 下 0 階
	敷 地 面 積	382.15平方メートル	高 さ	30.89メートル
	建 築 面 積	261.09平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟 増 築 の 場 合 の 増 築 部 分 の 床 面 積)	2373.12平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	2373.12 平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等		
		飲 食 店 等		
		集 会 所 等		
工 場 等				
建築環境総合性能評価システムによる評価の結果		1.6 A		
金融機関の融資制度を利用するための 受領確認書の交付について (販 売 を 目 的 と し た 住 宅 を 計 画 す る 場 合 の み 記 入 す る こ と)		■ 希 望 す る □ 希 望 し な い		
設計者の住所及び氏名の公表について		□ 公 表 可 ■ 公 表 不 可		

温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概要	要
■ 外 壁 ， 屋 根 又 は 床 の 断 熱	屋根：硬質ウレタンフォーム保温版2種1号/70mm 外壁：現場発泡硬質ウレタンフォームA種1H/20mm 外気接す床：A種押出法ポリスチレンフォーム3種bA/50mm	
■ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	ダブルカーテンレールと庇（バルコニー）	
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明使用。	
■ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電設備を設置（別途届出済）	
■ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	ノンフロン発泡断熱材を使用	
■ 地 域 産 木 材 の 利 用	住戸天井下地に使用（別途届出済）	
□ 節 水 型 設 備 の 設 置		
□ 雨 水 ， 雑 排 水 等 の 利 用		
■ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	排水管等にVP管を使用。	
□ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮		
□ 緑 化 の 実 施		
□ 電気自動車等の充電設備の設置		
■ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	マンション用を設置。	
■ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	ノンフロン発砲断熱材を使用。	
□ そ の 他		

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。（敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります）